

決算特別委員会（全体会） 記録

開 会 年 月 日	令和 2 年 10 月 9 日
開 会 時 刻	午前 9 時 59 分
散 会 時 刻	午前 10 時 33 分
出 席 委 員 名	◎藤原清史 ○上村和生 宮崎 誠 久保 真
	中村 功 井村貴志 北村 勝 楠木宏彦
	鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子 野口佳子
	辻 孝記 吉岡勝裕 品川幸久 西山則夫
	小山 敏 浜口和久 山本正一 宿 典泰
	世古口新吾
	世古明 議長
欠 席 委 員 名	な し
署 名 者	宮崎 誠 久保 真
担 当 書 記	森田 晃司
審 議 案 件	議案第 79 号 令和元年度決算認定について
	議案第 80 号 令和元年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和元年度伊勢市病院事業会計決算認定について
	議案第 81 号 令和元年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市水道事業会計決算認定について
	議案第 82 号 令和元年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市下水道事業会計決算認定について
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

藤原委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第79号 令和元年度決算認定について」外3件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時59分

◎藤原清史委員長

ただいまから決算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は20名でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者は、当初決定のとおり宮崎委員、久保委員の御兩名を指名いたします。

それでは「議案第79号 令和元年度決算認定について」外3件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、審査に入ります。

各分科会からの報告を願います。

最初に産業建設分科会、辻会長からお願いいたします。

辻会長。

○辻孝記産業建設分科会会長

去る9月23日の決算特別委員会において産業建設分科会に割り振られました「議案第79号 令和元年度決算認定について」外2件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月28日及び29日に審査を行いました。

「議案第79号 令和元年度決算認定について」中当分科会関係分、「議案第81号 令和元年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市水道事業会計決算認定について」及び「議案第82号 令和元年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」は、それぞれ可決、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、議案第79号中当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、森林環境譲与税について、土砂災害を未然に防げるよう安心・安

全な計画作成を期待する意見、使用料及び手数料について、無届の占用物件に係る道路占用料及び住宅使用料の未収金について不公平感がないよう対応していくことを期待する意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、労働費においては、就労支援について、UIJターン企業説明会の開催時期・場所を再検討し、効果的なPRを求める意見、サンライフ伊勢のトレーニングルームについて、利用率が高いことから存続を求める意見、若年者の就労支援について、高校生・大学生の就労につながるよう中小企業向け専用サイトの作成、ウェブ会議等の支援を期待する意見、障がい者雇用について、働き手を一人でも増やせるよう効果的なPRを期待する意見、女性の就労支援について、女性の力を市内の企業で発揮できるよう支援及び結果の報告を求める意見がありました。

農林水産業費においては、農産物のブランド化について、全国各地でのPRを求める意見、地産地消について、学校給食への新たな市内農産物の追加を期待する意見及び各品目が市内でどれだけ消費されているかが大切であるとの意見、担い手支援について、地域農業を守る施策の充実を期待する意見、農地の中間管理について、新規就農者の育成や耕作放棄地の削減については中間管理機構の役割が大きいが、課題解決に向け農業者個人へのアプローチ等の取組を期待する意見、産直施設の運営について、来客者数の増加に向けた取組を期待する意見、排水機場の維持管理について、ポンプ機能更新とともに河川のしゅんせつ及び護岸の整備を期待する意見、森林整備について、松林の間伐及び小中学校への木材利用の促進を期待する意見、獣害対策について、獣害に加え、鳥獣被害防止のさらなる取組を求める意見、干潟保全について、経過観察を強化し干潟機能の改善を期待する意見がありました。

商工費においては、商店街振興対策について、他の計画等に活用もできることから、歩行者通行量調査へのAI導入に期待する意見がありました。

観光費においては、バリアフリー観光について、関係機関と連携し事業を継続すること及び情報発信や支援を期待する意見、観光誘客について、新型コロナウイルス感染症の影響が危惧されることから、マイクロツーリズムのための情報発信を期待する意見、二見海岸について、都市整備部と連携し、清掃等の維持管理を行い、年間を通じた運営ができるよう事業の推進を期待する意見、観光情報のSNS発信について、目に見える形での情報発信を期待する意見、観光協会と共同運営のホームページについて、昨年のアクセス数減から状況が改善していないことを危惧する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、補助金の有無に関わらず、市の単費でも早急に事業を進めていくことを求める意見、道路の維持管理について、民地から道路にはみ出た草木が通行の妨げにならないよう土地の所有者に剪定を依頼するなど管理の徹底を求める意見、市内各所の道路整備工事について、一日でも早い完成を期待する意見、宇治山田駅周辺道路が通勤・通学、雨天時に非常に混雑することから、計画の再検討を期待する意見、伊勢市駅の周辺道路の整備について、安心・安全なまちづくりにつながるよう他部署と連携を取り事業を進めていくことを期待する意見、通学路の整備について、安心・安全な通学空間の創造を期待する意見、河川改良工事について、治水対策の充実を期待する意見、港湾整備について、宇治山田港湾を生かしたまちづくりを求める意見、海岸環境整備につ

いて、自慢できる海岸線のため、国・県と連携した取組を求める意見、踏切道の南北分断について、立体交差の採用等、将来に向け事業のあり方の検討を求める意見、木造住宅の耐震改修等促進について、今後も啓発活動の取組を期待する意見、特定空き家対策について、周辺に被害が出ないよう対応を求める意見、空き家バンクについて、入居希望者に対して登録物件数が少ない現状から、市民がより登録しやすい方法の研究を求める意見がありました。

教育費においては、国民体育大会について、コロナ禍における事業の進捗を危惧する意見がありました。

次に、議案第81号の水道事業会計については、人口減少、管路の老朽化による事業費の増大が予想されていることから、さらなる経費削減及び効率化に取り組むことを求める意見、事業収入に結び付くよう有収率向上に向け様々な努力を期待する意見及び次年度への繰越工事が多いことを指摘し、単年度で評価できる状況をつくることを求める意見、議案第82号の下水道事業会計については、下水道接続率向上のため、啓発活動の継続を期待する意見、受益者負担金について、地域の声を反映しながら事業を進めていくことを期待する意見、汚水事業と雨水事業があるが、市民の声を反映し雨水処理対策に重点を置いた事業の推進を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告とさせていただきます。

◎藤原清史委員長

消毒のため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時10分

再開 午前10時10分

◎藤原清史委員長

休憩前に引き続き会議を続けます。

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御発言もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、教育民生分科会、吉井会長、お願いいたします。

吉井会長。

○吉井詩子教育民生分科会会長

去る9月23日の決算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第79号 令和元年度決算認定について」外1件につきまして、審査の経過並びにその結果を

御報告申し上げます。

当分科会は、9月30日及び10月1日に審査を行いました。

「議案第79号 令和元年度決算認定について」中当分科会関係分及び「議案第80号 令和元年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和元年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は、それぞれ可決、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、議案第79号中当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、保育料収入について、生活困窮の相談にも乗ることで丁寧な対応を求める意見、じん芥収集車両の広告収入について、減少傾向にあるが、新たな財源確保の研究を期待する意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、民生費においては、民生委員の成り手不足について、さまざまな手法を検討し、人材確保を図ることを期待する意見、健幸ポイント事業について、生涯スポーツの視点も入れ、若い世代にも制度の拡大を期待する意見、及び財源確保を行い、今後の事業の継続を求める意見、成年後見人の養成について、担い手の育成や成り手不足の解消を求める意見、伊勢市駅前の保健福祉拠点施設の整備について、市の計画の遅れや事業経費の増大に対する責任の所在を追求する意見、障害者地域相談支援センターについて、広い視野で相談を取りまとめ、運営の強化を求める意見、障がい者体育祭について、障がい者の社会参加を促すとともに運動のきっかけづくりとなる大会になることを期待する意見、子どもの学習支援について、貧困の連鎖が生まれぬよう一人でも多くの参加ができる体制づくりを求める意見、老人乗合バスについて、時代の変化にも対応した事業の見直しの検討を求める意見、保育のICT導入について、業務の軽減により得られた効果が波及されることを期待する意見及び今後のさらなる利便性の向上を求める意見、保育園の運営について、保護者側の声を聞き、反映しやすい環境づくりを期待する意見、保育の無償化について、新しい制度の中でも保育が充実されることを期待する意見がありました。

衛生費においては、エコドライブの普及促進について、講習会の受講者だけに留まらず、効果が波及されるよう事業の改良を求める意見、地球温暖化について、市の姿勢がアピールできる取組を期待する意見、市営墓地の管理について、墓守に民間業者が介入していることもあるが、公営墓地としての観点に立ち、料金提示の透明性を求める意見、ごみの削減について、市民に対して具体的な費用等の数字を出すことで減量のPRを期待する意見及び時代に合ったごみ減量化ができるように事業の見直しを求める意見、ごみ分別のPRについて、キャラクターを活用しつつも、目標への方向性を整理し、有効的な活用を求める意見、ごみ収集の民間委託について、今後の市民サービスを低下させることなく経費節減を求める意見がありました。

消防費においては、災害時要援護者対策事業について、防災ささえあい名簿を活用し、自治会が取り組みやすい体制づくりを期待する意見がありました。

教育費においては、外国語教育について、各校へのALTの配置も充実し、子ども達の外国語に対する環境の充実を期待する意見、通学路の安全対策について、学校が実施する各種事業の成果に期待する意見、部活動について、他市の例も参考に外部指導者を活用し

た事業の充実を求める意見、学校教育へのICT機器導入について、さまざまな手法を検証し、よりよい方法の追求を期待する意見及びICT支援員のサポートを強化し、人材確保を図ることを求める意見、小学校における現金の紛失について、教育委員会への報告が遅れたことがあり、風通しの良い組織の在り方を求める意見、コロナ禍における学校の手洗い場の自動水栓化について、他施設と比べ遅れをとらないように留意を求める意見、学校図書の実質について、電子化も含めてよりよい方法を求めて検証を期待する意見、学校施設の照明LED化について、長寿命化計画にも考慮し、推進を求める意見、障がい者スポーツについて、指導者の育成を行い、参加者が増加するよう事業の推進を期待する意見、やすらぎ公園プールについて、事業の運営の見直しを検討するよう求める意見がありました。

次に、一般会計の自由討議において、保健福祉拠点施設の整備について、事業の遅れから市の影響を危惧し、結論を早く出すよう厳しい報告書の作成を求める意見に対し、決算審査としては入れるべきではないとの意見が多数あり、議会の責務を果たすためにも今後の進め方に期待したいとの意見がありました。

次に、特別会計でございますが、介護保険特別会計においては、高齢者の集いの場への移動支援に対してさらなる支援の広がりを期待する意見がありました。

次に、「議案第80号」の病院事業会計については、新病院のホスピス病棟について、市民への周知がまだまだ不足しており、積極的な広報を求める意見、医師確保の取組について、総合病院という理念の下、不足している診療科についても医師の招へいの強化を期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎藤原清史委員長

消毒のため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時18分

再開 午前10時18分

◎藤原清史委員長

休憩前に引き続き会議を続けます。

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、鈴木会長、お願いいたします。

鈴木会長。

○鈴木豊司総務政策分科会会長

去る9月23日の決算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第79号 令和元年度決算認定について」、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。当分科会は、10月2日に審査を行いました。

「議案第79号 令和元年度決算認定について」中、当分科会関係分は、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、当分科会関係分のうち一般会計の歳入においては、市税について、差し押さえ等の滞納処分により収入未済額が減少傾向にあり、高い収納率を維持していることを評価した上で、現年課税分の収納率の更なる向上とスマートフォンアプリ等による納税しやすい環境づくりを求める意見、現年度の滞納について、早期の調査、処分による対策を求める意見、市たばこ税については、100パーセント収納できる貴重な税財源であることから分煙環境づくりを求める意見がありました。

次に、使用料及び手数料については、吹上駐車場の利便性や料金の検討、さらなる利用促進を図る施策を求める意見がありました。

次に、市債については、令和2年度で期限を迎える合併特例債の有効活用を求める意見、今後の財源確保が課題であることを指摘する意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、総務費においては、一般管理費について、自衛官募集事業で、法定受託事務であるが判断は自治体であり、適齢者情報の提供は本人への確認もなく、また本人に知らせていないことから、個人情報保護の観点から問題があるとの意見がありました。

人事管理費については、前年度に比べて通勤時の事故による公務災害が増えているのでその対応を求める意見、事故の割合が多いので安全運転研修に多くの職員の参加を求める意見、ストレスチェックの結果を活用してメンタルヘルス研修等での対策を求める意見、将来を見据えて新規採用、雇用延長、再任用職員等のバランスの取れた定員管理を求める意見、IT化の進展によりVDT検査が重要であり、その取組に期待する意見がありました。

人材育成推進費については、職員の業務遂行意欲を向上させ、公務能率の一層の推進と職務に集中できる環境づくりを求める意見がありました。

企画費については、出会い・結婚支援事業で、生涯未婚率が増加傾向にあることから企業や団体と協力して出会いの場等をつくり婚姻率等の向上を求める意見、ふるさと応援寄附推進事業では、返礼品に伊勢ブランドをもっと採用してブランド化の更なる推進を求める意見、公共施設マネジメント事業では、サウンディング型市場調査を用いた学校跡地の有効活用について、地元の意見を十分に聞いた上で進めることを求める意見、いせ市民活動センターの移転、（仮称）郷土資料芸能館の検討において、活動団体、市民等の意見が反映できるよう求める意見、第2期まち・ひと・しごと総合戦略の目標を達成するため、企業誘致などによる人口増加施策を求める意見、3回目の伊勢移住体験ツアーは中止となったが実施時期が3月では遅いとの指摘、Society5.0などICT化が進む中で理数系の人材の採用を求める意見がありました。

地域自治推進費については、まちづくり協議会は市民の認知度が低く、運営の在り方の改善を求める意見、市民自治の確立は市の責務であるとの意見、まちづくり協議会と自治会との役割の明確化を求める意見、自治会コミュニティ放送整備補助事業では、今後スマートフォン等で受信できる一斉メール等の新たな伝達手段を求める意見、国際交流事業費については、在住外国人に対する災害情報提供等の対応を求める意見がありました。

防犯活動推進費について、防犯啓発事業では、注意喚起を継続して行い、安全安心の市民生活の確保を求める意見、防犯灯LED化推進事業では、防犯灯のLED化が遅れている自治会へ積極的な働きかけを求める意見がありました。

戸籍住民基本台帳費については、窓口対応が好評価であるため、委託事業者の変更に際しては利用者の満足度、サービスの低下につながらないような対応を求める意見、DV被害者の住所情報保護や関係各課の連携、適正な事務を求める意見がありました。

次に、民生費においては、人権政策費の非核平和推進事業で、子供たちへの教育として非常に有効であるとの意見、人権教育推進事業では、街頭での啓発活動は有効であり、啓発紙の発行を全市的に広げられないかとの意見がありました。

次に、消防費においては、常備消防費について、消防本部移転により西分署の出動範囲拡大による負担増への対応を求める意見、救急車のレスポンスタイムの更なる改善に期待する意見、救急ワークステーション事業において医師と救急隊員がスキルアップや連携を深めて事業が更に充実したものとなるよう期待する意見がありました。

災害対策費については、不足している備蓄倉庫及び備蓄品の確保の推進を求める意見、高齢者等宅家具固定事業で申込件数が少ないことから、更なるPRや啓発に取り組むよう求める意見、避難所等整備事業では、災害用トイレの整備推進とトイレ設置に関わる防災訓練の実施を求める意見、高齢者等の災害弱者向けの避難所施設の整備を求める意見、コロナ禍における避難所は避難者の受け入れが制限されることから、リアルタイムで避難所の状況が把握できるような情報発信に取り組むことを求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎藤原清史委員長

消毒のため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時28分

再開 午前10時28分

◎藤原清史委員長

休憩前に引き続き会議を開きます。

〔野崎隆太委員 入場〕

◎藤原清史委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御発言もないようですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑は終わります。
これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。

続いて総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて議案第79号外3件一括に対する討論を行います。討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

討論はないようですので、以上で討論を終わります。

ただいまから「議案第79号 令和元年度決算認定について」外3件一括を採決いたします。

1件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず、「議案第79号 令和元年度決算認定について」を採決いたします。

議案第79号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎藤原清史委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第79号 令和元年度決算認定について」は認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第80号 令和元年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和元年度伊勢市病院事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第80号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎藤原清史委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第80号 令和元年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和元年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第81号 令和元年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第81号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎藤原清史委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第81号 令和元年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市

水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第82号 令和元年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第82号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎藤原清史委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第82号 令和元年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成につきましては正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時33分

上記署名する。

令和2年10月9日

委員長

委員

委員